

2021年 第4回役員会報告

幹事長 白木政隆 (21期)

2021年9月25日(土) 14:00 から、オンライン会議にて、2021年第4回役員会が開催された。

【出席】 オンライン(Zoom)にて役員会参加

嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、安藤(11)、山川(12)、榎本(12)、竹村(13)、白須(17)、木村(17)、
小浜(17)、山口(18)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、白木(21)、古川(25)、柏木(25)、
毛塚(26)、楠本(28)、松本(29)、親跡(34)
<現役>中山(63)、金(63)、水内(63)、塩坂(65)

計26人

【議事内容】

1. 会長挨拶

- ・総会についての内容討議、改選、苗名小屋課題の役員会での共有化等、本日の役員会は盛りだくさんな内容になっている。
- ・コロナ禍の状況を踏まえ、初めての総会完全オンライン化も決定したが、段取りも合わせ議論したい。参加していただく現役の方も含めて活発な議論を進めていきたい。

2. 審議事項並びに現役報告事項

- ①【会長】2021年度OB会活動報告並びに2022年度活動方針について
 - ・活動報告並びに来期方針案→基本的な内容は承認(各委員長による精査後、更新・追加内容を加筆する)
 - ・小屋整備の制度改定等は立案も含めて、今後役員会として継続検討していきたい→継続審議
- ②【会長】2022年度役員改選(総会決議)・担当変更(役員会決議)について
 - ・役員新規就任…無し
 - ・役員退任…4名(伊藤総務副委員長、古川総務副委員長、横溝総務委員(死去の為)、茂呂総務委員)
 - ・役員の改選・変更(役員担当変更)・追加(新たな役員担当就任)案の説明→承認
(担当変更) 41 石川副幹事長兼小屋委員、13 竹村総務委員長兼HP委員(総務兼務追加) 20 武藤、
23 吉田、20 西田(兼務解除) 21 白木HP委員(兼務変更) 20 石垣副会長兼編集委員長
- ③【総務委員長】総会議事内容について
 - ・昨年のアジェンダ内容を基本として総務委員会にて最終案を作成する→承認
- ④【副会長】会則変更について
 - ・会則第31条(期別幹事の任命)の変更案提示→承認
 - ・「総会出欠ハガキの廃止」に関して会則改定の必要性についての検討案提示→承認
- ⑤【OB山行委員会】今期総括と来期山行計画案、運営規定案について
 - ・10/22の山行もコロナ禍の影響が未知数の為、中止する。来期は今期の計画をスライド実施予定→承認
 - ・活動内容の理解促進も含めて、運営規定案は会員Webサイトにて公開する→承認
 - ・登山届の届け出方法見直し、OB会主催山行についての更なるデジタル化案が他役員から提案が挙がる。
→一部検討はしていくが、当面は現行の方法を継続していきたい→承認
- ⑥【編集委員会】会報79号原案について
 - ・発行スケジュール…原稿締め11/5(金)、入稿11/21(日)、発送12/4(土)→内容原案含めて承認
- ⑦【現役】現役活動報告について
 - ・7/11or17 総合錬成Ⅰ・箱根①、7/23 総合錬成Ⅱ・谷川岳 8月以降は合宿不可のため個人山行に変更。
 - ・登山前の座学や防衛医科大学の講習会に参加して知識レベルの向上を図った。
 - ・11/6-7の小屋閉めを「正式な部活動」として実施できればと考えている。

3. 報告事項(審議事項として扱うものにはコメント記載)

①【総務委員会】

- ・最終の総会案内を通常のメルマガとは別途発行する。出欠連絡締日は10/15とする→承認

- ・メルマガ作成の簡素化を目指しており、委員長に編集する為のID、PWとマニュアルを送付する
- ・各委員会のWebサイトは各委員会が管理できる体制を目指していきたい。
- ・現役のWebサイトについても現役での更なる活用をお願いしたい。
- ・名簿システムに関するメルマガ等での連絡は、今後は総務委員会から整理して発信する→承認
- ・総務委員会とHP委員会合同で名簿システムの全体像と課題、名簿管理の方向性案を整理していく
→継続審議

②【OB小屋委員会】

- ・8月の小屋訪問は少人数だったが、プロパン搬入、蜂の巣駆除等を実施した。
- ・布団をいただけたので布団の在庫チェックをして、古い布団を仕分けした。
- ・9/22-24 現役含む若手7名が小屋入り。火打山登頂後苗名小屋で小屋管理の指導（マキ作り等）を実施したとのこと。10/9-11 キノコ採り他。11/6-7 小屋閉め 実施予定（詳細はメルマガにも記載）

③【部史編纂委員会】

- ・現在はアップしたデータが正しく反映されているかの検証中。その中で重要な個人情報がある場合は、閲覧できないような作業をしている。

4. 苗名小屋に対する課題共有化と今後の運営方針について

- ・過去の経緯、妙高エリア内の他大学の山小屋情報の共有化、地主を含めた地元への今後のアプローチ検討、現役を含めた若年層の小屋行事（小屋整備含めて）の更なる参画についての方策を今後も検討していく。
- 苗名小屋の運営と今後の方向性に分けて考える必要があるが、若い会員や現役はまずは小屋に来てもらうことを考える。小屋の今後については、まず代替わりした地主に今後の考えがあるか探ってみることから開始する。
- ・苗名小屋はOB会と現役の共有資産なので、現役との議論もより密にしていく→継続審議
- ・小屋整備に係る交通費補助については、現役参加の場合のアルバイト化も含めて、十分な形にする方向で検討を行う。